



全国産業教育フェア山口大会に行ってきました。

期 間 平成30年10月27日(土)～28日(日)

スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール事業発表会及びパネル展示・説明

1 概要

「スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール」事業の研究指定校の生徒による実践内容や事業を通じて学んだ成果等についての発表とポスター展示。

2 発表・展示数

研究指定3年目の10校と5年目の2校の生徒が発表。あわせて、23校(研究指定2年目10校、3年目10校、4年目1校、5年目2校)によるポスター展示。←来年度は、新潟県での産業教育フェアで、新潟工業高校が発表を行います。

成果発表とポスター内容 (1) 事業の概要 (2) 具体的・特徴的な実践内容 (3) 成果と改善の方向性

3 会場 【維新百年記念公園スポーツ文化センター】



【本校生徒と引率職員：会場】



【ポスター展示：エントランス】



【本校生徒によるポスター説明】

【生徒の感想】

- ・ 他の学校の発表やパネルを見ていると、企業連携していて、高度な研究をしていた。発表では3Dスキャンする装置がすごかった。県の特産品や工業についてアピールするところが良いと思いました。来年は新潟県なので、たくさんのいいところを他の県にアピールしてほしいです。
- ・ 工業高校以外の説明を聞くことによって、普段は知れないような他の分野のことについてよく知れた。SPH事業3年目の学校の説明を聞き、来年の産業フェアでの発表の参考になりました。来年の新潟大会では、今回発表した学校以上のパフォーマンスをしたいです。
- ・ 他校と新工を比べても特別新工が見劣りするわけではなさそうだという事がわかった。今後化学科ができることを探したい。
- ・ 発表のとき、動画などを使うとわかりやすく、見ている人も飽きないだろうと思った。他の高校のパネルもしっかり見ることができた。他の工業高校はあまり土木科がなく、それぞれの科が別々で研究していたので、新工は協力があって良いと思った。発表時間が短いのでそれぞれの科がちゃんと発表できるかが不安。
- ・ 他の学校の人に新潟工業高校の説明をした。逆に他の高校のこと説明してもらえた。成果発表で印象に残ったことは写真をスキャンして、PCで3Dにして立体を作る技術はとても素晴らしかったです。
- ・ パネル展示、説明のときに他校の生徒に説明してもらったりした。同じ工業高校でも取り組んでいる内容が違うなと思った。SPH事業を通し、英語力が向上したりコミュニケーション力が向上したりと、たくさんの成果が上がっている事がわかった。SPHを実施した学校の多くが英語に力を入れていて、私たちが台湾に行くので、日常会話程度はできるようになりたいと思いました。

生徒の変容

昨年秋田で成果発表を見たとき生徒は圧倒された感じであった。今年度、多くの活動経験を積んで山口に来た。昨年から見えてきた生徒を見ていると、自分たちももっとできそうな自信が見えてきていた。